

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評価日 平成27年 3 月 31 日

団体名	高齢者生活協同組合 おもしろ倶楽部		
事業名	行き場・居場所としての【ふれあいサロン】の開設		
対象経費	300,000円	支援金額	100,000円

事業の目的・内容	目的 子育てが終わった人や定年退職者の社会参加の場になるとともに、一人暮らしや閉じこもりなどの高齢者の方への地域に出るきっかけづくりとして、「ふれあいサロン」を開催した。相互のふれあいによってイキイキ支え合い、互いのキャリアや持てる技術の交流から、認知症や寝たきりを遅らせたかった。また従来実施していた「脳イキイキ楽習塾」や協同畑による生活困難者への支援活動も継続する。これ等を通して介護予防の観点と安心な仲間づくり・地域づくりとを目指した。
	内容 1. ふれあいサロンは、かご編みサロン、絵手紙サロン、囲碁将棋麻雀サロンをそれぞれ月1回ずつ参加費200~300円と必要材料などの実費とした。 2. 脳イキイキ楽習塾は毎月定期的にプログラムに沿って講義や運動・ゲーム、参加型の音読や歌などを計画し受講してもらうもので、小諸~小海まで広く佐久地域からの参加がある。 3. 「介護保険のこれからと地域づくり」と題する地域にむけた講演会を実施した。 4. 協同畑ではジャガイモと玉ねぎを栽培し、山谷や新宿などの炊き出しグループに送った。

事業の活動実績	<p>1. ふれあいサロンの10ヶ月の述べ参加者数は、かご編みサロン196人、絵手紙サロン87人、囲碁将棋麻雀サロン54人で、計731人が始めて高齢協に足を運び、知らない人同士の出会いと交流がはじまっている。</p> <p>2. 脳イキイキ楽習塾は50歳代から90歳までの25人前後の人が毎月参加している。なかには80~90歳代の女性が3人毎年続けて参加し、皆さんと勉強するのが楽しみだと毎月誘い合って受講され、老い方の手本を示してくれている。</p> <p>3. 「介護保険のこれからと地域づくり」と題して講演とパネルディスカッションの会を開催した。佐久市や近隣町村から約120人の参加があり、要支援者への対応が大きく変わり、国の方針や市の方向性が問われる時だけに興味も高く、全国高齢協の稲月氏の講演にみな熱心に耳を傾けた。討論ではフロアとのやり取りも多く、「介護保険からは外れてもデイなどが受けられるというが、同じようなケアが同額くらいで受けられるのか」などの具体的な質問も多くいただきました。</p> <p>4. 協同畑活動は2008年から始めているが、今年はジャガイモ150キロの収穫と玉ねぎ苗400本をうえた。また、秋には東京や高崎の炊き出しグループや食材の受けての施設との交流会も松原湖で恒例になっており、路上生活など生活困難者の生の声も聴けて、日本のありようなど複雑な思いにさせられ、身を引き締める大事な機会となっている。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>1. サロン活動の参加者は、60~70歳代がほとんどで、7割の方はカゴづくりや絵手紙は初めての挑戦で、「やってよかった」「楽しい」「続けたい」とアンケートに答え、新たな楽しみごとになっているようである。また、絵手紙は年賀状やひな祭りなどの頃に、これにちなんだ作品にして、宅配弁当の「米ちゃん弁当」に添えて利用者さんに配布してもらい、「嬉しかった」と喜ばれ、両者にとって暖かい交流が始まっている。</p> <p>2. 講演会では、講師への評判が高く「経過の流れに沿って説明され、これからの自分たちのあり方がわかり良かった」「自分も閉じこもらず地域に参加したい」など、わかりやすくよかったといい、「タイムリーなテーマであり、佐久市や包括のケアマネの参加があったことはとてもよかった」「今後もこの問題を続けて考える場を作って欲しい」などと取り組みへの期待や、今後への課題も寄せられ有意義な会となった。</p> <p>3. 協同畑の活動は自分たちの収穫量は少ないものの、我々の活動を伝え聞いた方々が、野菜やコメが余っているからとコメ5俵とか3俵などを高齢協に届けてくださるようになり、高齢協が中継基地になって、フードバンクをお手つだいできるようになってきた。</p>
----------	--

事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input type="radio"/> ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 <input type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>サロン参加者が予想外に多くあり、サロン収入が予算より多くなった。支出では、講師謝礼などの報償費と会場費が低く抑えられたので、プリンターの購入ができ備品費がやや多くなった。</p>
その他、評価すべき点等	<p>これ等の活動を通して、少しでも社会参加へのきっかけとなり、独り暮らしでも独りぼっちな思いにならないよう、「ひとりぼっちなならないしない」という高齢協の理念にいくらかはちかずき、触れ合える場となったかと考える。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>ふれあいサロンには、いろいろな要望が出始め、料理や手芸・ハモニカなどの声も出ているが、4月から「陶芸教室」が始まることになった。しかしこれらのサロンが単なるカルチャーにならず、要支援に近いような、外に出るチャンスの少ない方を誘いつつ、相互の交流で元気の継続につながるようこころしたい。ただ、移動手段のないこの年齢層の方々の、サロン参加を促すことの悩みが今後の課題である。</p> <p>次年度も佐久っと支援金を活用して、介護保険の問題を地域で住民主体の形で支えあう、仕組みづくりを考える学習会を計画したい。</p>
---------	--